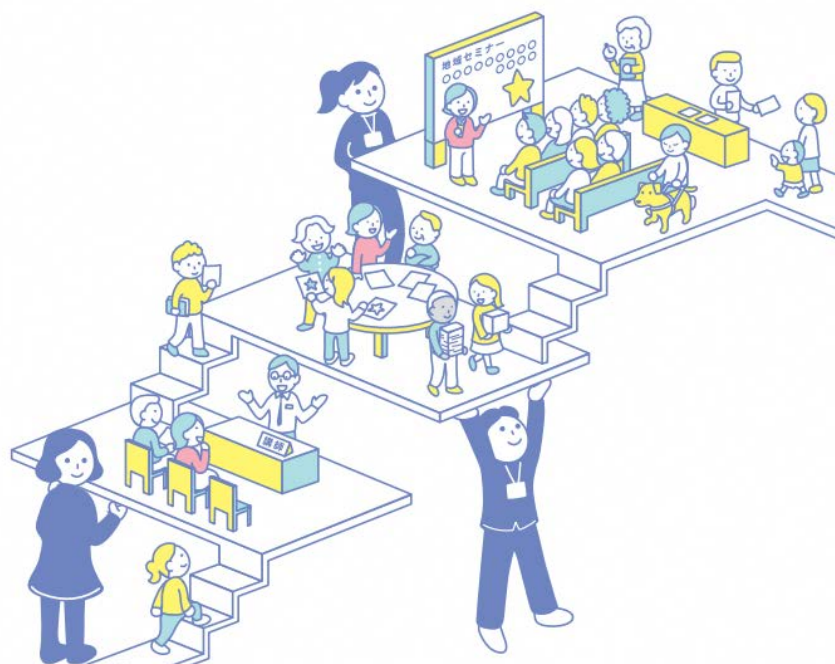


公民館コラボ LAB 事業



福岡市共働事業提案制度 事業の進捗状況資料 (令和元年度)

公民館コラボ LAB 実行委員会

福岡市公民館支援課
NPO 法人ドネルモ

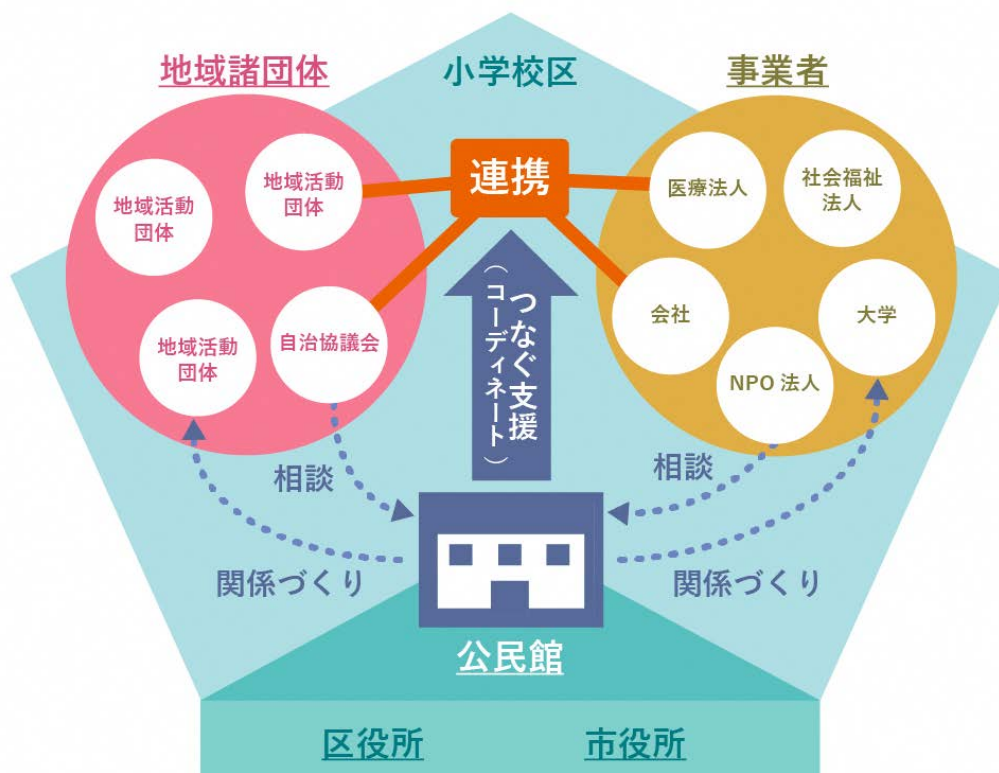
(福岡市共働事業提案制度 平成 29 年度採択事業)

(1) 共働のきっかけ・必要性

- 福岡市では、平成28年度から自治協議会や企業、商店街、NPO、大学、行政がお互いの長所や資質を活かして共に協力し合って地域の未来を創り出す「共創のまちづくり」を進めている。
- その中で、NPOが小学校区毎に設置されている公民館の「集まる」、「学ぶ」、「つなぐ」機能に着目し、地域内の連携により地域コミュニティ活動を活性化するうえで、公民館のこれらの機能を有効に発揮する仕組みが必要と感じ、提案を行った。
- 福岡市は共創のまちづくりを進めるうえで公民館の機能を活かした仕組みづくりを模索していた中、連携促進に関しノウハウを有するNPOからの提案を受け、当該事業を受けることになった。

(2) 事業目的

本事業の目的は、『地域におけるまちづくりの活性化に向け、公民館のコーディネート機能を強化することにより、地域諸団体と事業者との連携の促進を図る』ことである。



(3) 事業目標

■平成 30 年度

- 公民館による地域連携支援の現状把握
- 公民館による地域連携支援に関する情報及び意識共有

■令和元年度

- 初年度に実施したヒアリング調査結果等を基にした
公民館による地域連携支援に関するノウハウ等を集めたハンドブックの作成
- 公民館コラボ LAB ハンドブック作業部会における検討を通じた、公民館による地域
連携支援を促進するための仕組みづくりや行政による公民館支援のあり方検討
- 公民館フォーラムを通じた公民館の機能を活かしたコーディネートの実践事例に
関する情報の共有及びこれらの取組に関する意識の共有

(4) 事業内容

■平成 30 年度

○公民館による地域連携支援の現状把握

- ①全館ヒアリング（４～８月実施）福岡市内の全公民館（148 館）の館長及び主事

調査内容

- ・公民館による地域連携支援の現状等
- ・各公民館で取り組まれている連携事業の実践事例やノウハウ、連携上の課題等

- ②公民館アンケート調査（７～８月実施）福岡市内の全公民館（148 館）

調査内容

- ・公民館による地域連携支援の現状等
- ・連携事業の実施数やコーディネート支援に取り組んだ理由、課題、主な連携先等について

- ③各区地域支援課ヒアリング（７～８月実施）各区地域支援課管理係長・校区担当係長

調査内容

- ・各区地域支援課が実施する公民館への支援策について

④ “モデル館”（公民館フォーラム事例発表館）への追加取材（10～11月実施）

事業者との連携において公民館の機能を活かした取り組みを行っている名島・弥生・能古の3公民館で2～3日程度公民館業務を手伝いながら、連携事業の進め方や連携を進める上でのノウハウについて聴取

⑤モデル館以外に2公民館の取り組みを追加取材（10～11月実施）

連携の事例や連携事業の進め方や連携を進める上でのノウハウについて聴取

○公民館による地域連携支援に関する情報及び意識共有

⑥公民館フォーラム（全市公民館職員研修。2月実施）

対象：福岡市内の全公民館館長、主事等

内容：追加取材館の事例発表を通じ、連携事業の取組方法等に関する情報を共有

○公民館によるコーディネートを進め方に関するハンドブック（3月着手）

⑦公民館へのヒアリング・アンケート結果や追加取材を踏まえ、現時点での「公民館による地域連携支援」に関するノウハウ等を集めたハンドブックの作成に着手

■令和元年度

○公民館による地域連携支援の仕組みづくり

①公民館コラボLAB ハンドブック作業部会の開催（6月～3月、年6回実施）

- ・実施目的：共創のまちづくりに向けた公民館の連携支援方法・仕組みづくりの検討
- ・出席者：館長2名（館長会から選出） / 主事3名（館長会から推薦）

地域支援課2名（公民館支援課が依頼） / 実行委員会

- ・実施内容：公民館による地域連携支援に関するノウハウ等を集めたハンドブックの内容検討、公民館運営方針・運営報告に関する書式の見直し、行政によるサポート体制等について、現場に従事する館長、主事、地域支援課職員と共に検討し、現場感があり、実行性の高い意見の反映を図る。



②地域連携支援に関する伴走支援（9月～1月）

- ・対象館：3館（現在公募中）
- ・実施内容：地域課題を解決するために連携相手を探したい、またはすでに連携しているが、より効果的な連携に向けて再検討したいといった悩みを持つ公民館に対して、①マッチング支援、②再検討支援に関する伴走支援を実施する。

③公民館による地域連携支援の進め方に関するハンドブックの作成

- ・掲載内容：ヒアリング・アンケート結果、作業部会における議論等を踏まえ、「公民館による地域連携支援」に関するノウハウ等を集めたハンドブックを作成する。

○公民館による地域連携支援に関する意識や情報共有

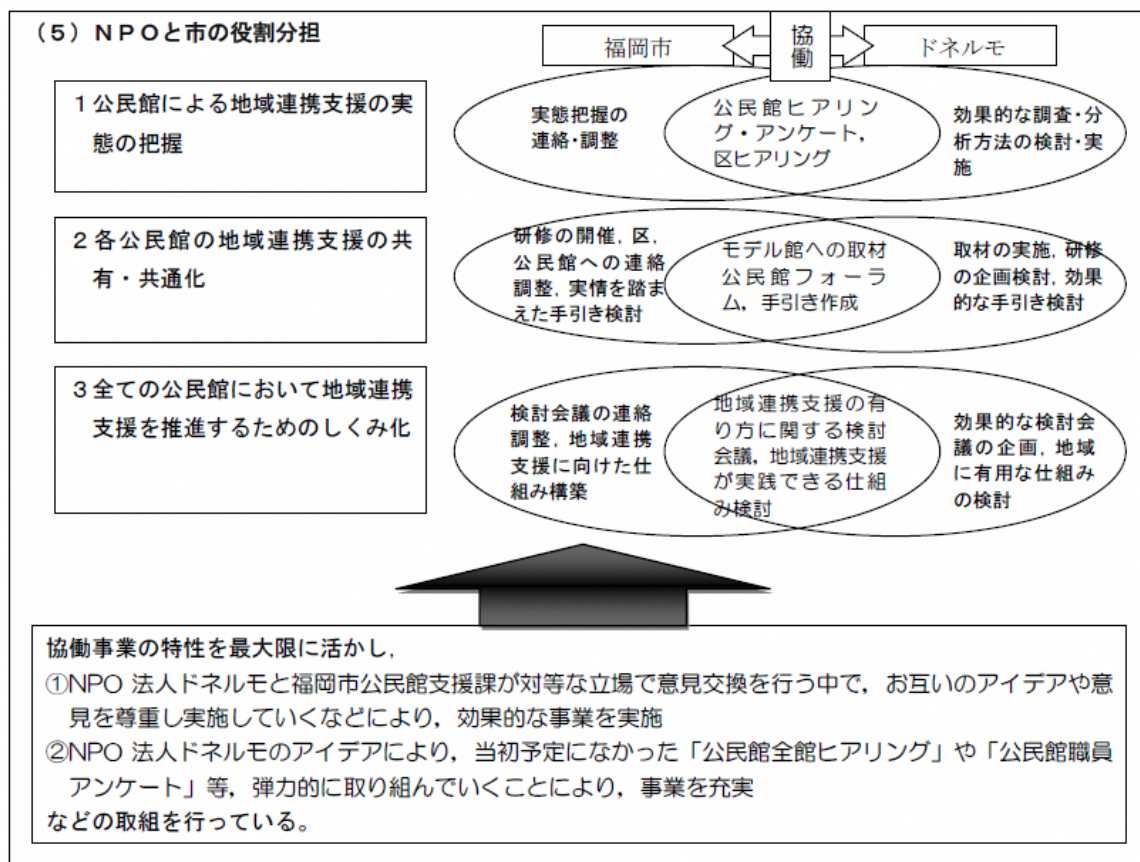
④公開イベントの実施（12月実施予定）

- ・対象者：公民館職員、福岡市役所職員、地域貢献活動に意欲的な事業者、一般市民
- ・実施内容：実際に公民館や地域と連携事業を行っている様々な分野の事業者を招き、地域連携についてのきっかけや関係づくり、手法等をテーマにして、事業者の声を抽出しつつ、参加者同士が話し合う場を設ける。また、ここで得た知見をハンドブック作成やモデル事業構築に生かす。

⑤公民館フォーラム（全市公民館職員研修、1月実施予定）

- ・対象者：福岡市内の全公民館館長、主事等
- ・開催内容：伴走支援を通じて、連携支援を実施した公民館の取組について情報共有を行うとともに、公民館の機能を活かした地域連携支援の必要性に関する意識の共有を図る。

(5) NPOと市の役割分担



(6) 担当者の声・市民の声

平成 30 年度に実施した「公民館フォーラム」におけるアンケートを抜粋した。アンケートの回答者は、主に公民館館長や主事、各区地域支援課職員によるものである。

【連携/共創のまちづくりの必要性の理解が深まったという声】

- ・「共創」のイメージがはっきりとしてきた。力まずに日ごろの取り組みを発展させていきたい
- ・事業者と共創することにより、もっと幅広い事業の展開ができることを再認識することができた
- ・公民館だけでは何もできないし、やれることもそんなに多くはないと思う。ほかの団体との連携は大切

【連携/共創のまちづくりのやり方についての気づきがあったという声】

- ・身近なところから連携をしていけたらいいと思う。いろいろな所と連携することで校区の課題が解決できたらと思う
- ・日常的に地域が抱えている問題を意識すること、それをチャンスととらえる。また、そのような校区や公民館に対し、市もできる限りの情報提供が必要
- ・連携は必ずしも新しい事業を始めなければならないとは限らない。

(7) 令和 2 年度への展開

■ 令和 2 年度（3 年目）の主な取組内容

① 公民館コラボ LAB ハンドブック作業部会の開催

ハンドブック（業務マニュアル）の各公民館への周知方法、また、それを活用して職員のスキルアップを図る研修内容等の検討を行うため、ドネルモ、公民館、区、公民館支援課による検討会議を実施する。

② 公民館連携ハンドブックの作成とその活用推進

前年度作成分に基づき、内容について福岡市各区地域支援課と協議・調整を行い、完成させる。また、各区館長会・主事会、地域支援課の会議等で、ハンドブックに関する説明会を実施するとともに、ハンドブックを使用した効果的な研修プログラムの開発・実装を行う。

③ 連携事業・連携コーディネイト推進のための環境整備

前年度の作業部会で決定した方針を基に、地域連携支援の促進を目的としたイベントの実施、運営方針・運営報告の書式の改訂や、行政サポート等の環境整備を進める。

④ 公民館フォーラムの開催

公民館フォーラムの中で、モデル館における連携事業の取り組み方等に関する情報共有や、公民館の機能を活かした地域連携支援のあり方について意識の共有を図る。